

## 第 41 卷 PDF 読本



高輪ゲートウェイ駅



山手線（新宿～新宿）

京浜東北線（大宮～横浜）

根岸線（横浜～大船）

埼京線（大宮～大崎）

2024年11月27日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 山手線（新宿～新宿）・・・5

第2章 山手線リベンジ・・・31

第3章 京浜東北線（大宮～横浜）・・・・・・・・・・55

※田端～品川は山手線と並走のため割愛

第4章 根岸線（横浜～大船）・・・・・・・・・・82

第5章 埼京線（大宮～大崎）・・・・・・・・・・100

※池袋～大崎は山手線と並走のため割愛

山手線（新宿～新宿：34.5 km）

京浜東北線（大宮～田端：23.2 km、品川～横浜：22.0 km）

根岸線（横浜～大船：22.1 km）

埼京線（大宮～池袋：23.5 km）

総営業キロ 125.3 km



本冊にある旅日記中、“わいわい会”とは高松一高同窓の歩き会のことです。この旅日記の第1回から第50回までは、国立国会図書館に納本済みの“わいわい道中記（50回記念号）”から抜粋し編集しました。

## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 36 弾目として、東海道本線・中央本線・東北本線などに接続する、神奈川県・東京都・埼玉県を走る、山手線・京浜東北線・根岸線・埼京線の旅（総営業キロ 125.3 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある檜原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 50 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2000 年 7 月～2022 年 1 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## <ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 34 編（日本横断歩き鉄の旅）

山手線・中央線  
京浜東北線・根岸線



高田馬場駅  
(カッシー館コア部分に登場)

2022年1月24日 歩く鉄道作家 樫原 勉

1

第 23 編（日本横断歩き鉄の旅）

八高線・川越線・埼京線  
りんかい線・横須賀線



花まつり  
(八高線)

2022年1月27日 歩く鉄道作家 樫原 勉

## 第1章山手線

### <ウォーキング当初の山手線踏破旅日記>

平成12年7月1日(土)新宿を起算点として山手線時計回り(34.5Km)での歩きに挑戦した。新宿のスタートは、朝の7時となった。しかしながら、1時間位歩いて高田馬場に着いた辺りから、江ノ島線で痛めた左足脛が痛くなり始め歩くのに非常に苦労した。何回も引き返そうと思った。折角朝早くから歩きに来ているのであるから、少なくとも午前中位歩いてだめだったら、帰ろうと思った。

今思えば、平成14年1月2日箱根駅伝の法政大学徳本君(2区)の心境が何となく分かるような気がする。特に駒込から田端にかけての坂を越えるのに非常にこたえた。「アップダウンは足にこれほど負担になる」とは。日暮里辺りでは、10mごとに休みを取らざるを得なかった。足が痛くて物見遊山する余裕はなかった。午前中で唯一印象に残ったのは、大塚駅と交わっている都電荒川線である。下町ののどかなよさが心にじんと来た。御徒町近郊の店でネクタイ2本購入後、秋葉原電気街を抜け神田に出る。昼食は神田の近くの松屋でとった。

この日の救世主は、日比谷公園での1時間位の昼寝である。木陰の昼寝は最高で、この休憩で生き返った。後半は比較的通常のペースで歩くことができた。増上寺の横を通り品川を目指す。田町から品川までの距離が山手線最長であり2.2Kmもあるとは思わなかった。目黒から恵比寿にかけて内側を歩いたため、高速道路の絡みで行きたい方向に行けず、恵比寿への道がとても遠回りとなった。後でこのあたりの道路事情に詳しい人に聞いてみたところ外側を歩けば、わかりやすいとのことであった。内側を歩いて通った白金の地名は忘れることができない。

中央線を境にして、池袋側と品川側とでは風景が全く異なるように思えた。どちらかと言えば、池袋側が上野・浅草で代表されるように下町的であり、品川側は渋谷・目黒で代表されるように山手的である。私は時計回りを選んだが、反時計回りの挑戦であれば、別の感じ方になっていたかも知れない。新宿までの途中原宿辺りで若者のたむろする店がたくさんあった。午前中の足の不調もあり、新宿に到着したのは19時半となった。でも、今日一日で山手線をクリアできて自信と達成感で満喫できる一日となった。万歩計は71,215歩となっていた。

山手線最短駅区間 西日暮里～日暮里：500m

## 第1節 大崎～新宿（第32回わいわい会で対応）

大崎(10:48)～五反田～目黒～恵比寿(12:07)～渋谷(13:30)～原宿～  
代々木(15:05)～新宿(15:40)



大崎駅

亀の甲緑地

第32回目のわいわい会は、平成20年12月6日（土）快晴の中実施。本日も遠足気分で早く目が覚める。6時前に起床し、愛犬セブンの朝の散歩を済ませ、南林間8時41分発の電車で臨む。大崎駅到着までに4人の方から確認等の電話がある。初参加の藤原さんから8時31分確認の電話。坂本さん（8時57）と溝縁さん（9時23分）は少し遅れる旨の電話。それから佐藤さん（9時34分）からは大崎駅の待ち合わせ改札口は北口にした旨の電話が入る。すなわち、「真鍋さんには北口で待つように言いました」と。携帯は本日のようなわいわい会では欠かせない。9時50分頃大崎駅北口に到着。先客として初参加の真鍋さんと本年フル出場の西田さんが北口におられた。お二人とも遠方から来られ感謝の気持ちで一杯であった。因みに真鍋さんは鹿島市から、一方西田さんは藤枝市からである。お二人は初顔合わせであるが、本日の案内チラシで互いにわいわい会の参加者であることを知ったとのことであった。藤原さん、藤本さん、谷本さん、佐藤さん、宇賀神さん、初参加の山田さん、寺西さんが順次10時15分までにお見えになる。溝縁さんが10時35分、坂本さんが10時40分頃お見えになる。藤本さんが南口まで坂本さんを探しに行っていていただく。藤本さんの帰りを待ち、簡単な挨拶を済ませ、10時48分大崎駅を出発する。本日は穏やかな紅葉の中、鉄道の左側を主に歩く。五反田駅から恵比寿駅にかけて目黒川に沿った遊歩道（亀の甲緑地）を歩く。



紅葉の遊歩道

11時11分、鄙びた海喜旅館の前を通過。11時25分、目黒雅叙園に沿った遊歩道前を通過。近くにヨーロッパ風のモダンな洒落たモーテルが目黒川に沿ってあった。この存在は寺西先輩から聞かされる。歩きながら、西田さんには次回のわいわい会の投稿を依頼する。沢山の大型の衛星アンテナのあるビルもあった。12時7分、恵比寿駅に到着。駅前で写真を撮ろうとしたところ、小子の携帯に西原さんから「本日わいわい会にどこで合流すればよいのか」の電話が入る。今、築地とのことであった。「渋谷で待ち合わせましょう」と回答する。山田さんは恵比寿近郊にかつてお住まいとのことで、「なつかしい」を何回も言われていた。恵比寿駅の先の駒沢通りを渡り、渋谷駅に向かう。



恵比寿駅

渋谷駅

渋谷駅には12時30分頃到着。東急プラザの地下2階の飲食街で昼食を摂る。昼食時間を利用して、本日初参加の藤原さん・山田さん・真鍋さん達と懇親の場を設けたかったが、生憎ランチタイム帯にぶつかり12名全員が同一店に入れず。止むを得ず二つのグループに別れて昼食を摂る。ひとつは、私達のグループ（坂本・谷本・藤本・樫原）で蕎麦系の店「家族亭」に入る。もうひとつは、宇賀神さんのグループ（寺西・西田・真鍋・佐藤・山田・藤原・溝縁・宇賀神）で洋風系の店「浅草軒」に入る。1時間後、浅草軒の前で待ち合わせすることにする。私が家族亭に入る頃、本日13番目の役者西原さんが登場する。「食事を既に摂ったため、1時間位この近郊を散歩して来る」と開

ロ一番しゃべられ退場する。食事が来る前の時間を利用して本年のわいわい道中記草稿（写真を貼り付けていない状態）を坂本先輩にお見せする。お褒め頂く。この草稿は本年フル出場の西田にさしあげ帰りの電車の中で読んで頂くことにする。



明治神宮 代々木駅

13時30分、西原さんの携帯に連絡し渋谷駅ハチ公前に来て頂く。そして、13名の集合写真を通行人の方に撮ってもらい原宿方面に向かう。ところが、沢山の人が沿道にいたこともあり溝縁さんが迷子となる。「近くにNHKがあり、坂を上っている」とのことから、どうやら溝縁さんは道元坂の方向に行かれたらしい。13時42分、私の携帯に私達の居場所について問い合わせがある。「山手線を右手にして歩いています」と言っても、電話による説明を理解していただけず。溝縁さんは多少パニック状態にあったのだろう。13時55分、分かりやすい場所前に来て、「私達は渋谷消防署前」と溝縁さんに連絡する。それでも了解してもらえず。それで「私達は明治神宮の鳥居前で待っています」と言ってやっと通じる。

再会は14時30分頃となる。真鍋さんから「緑があるから紅葉がきれいなのかも」との名台詞を聞きながら、皆で紅葉に包まれた明治神宮の棧道を歩き本堂に向かう。お参りをして集合写真を撮る。本日は吉日なのか数名の白無垢を着た花嫁姿を見る。昨年も築地本願寺前で洋式姿の花嫁を見るのが昨日のように思い出される。あれから一年があっという間に通り過ぎた。時の流れは早いものである。明治神宮で30分位留まり、15時頃終着の新宿駅を目指す。歩きながら本日14番目・15番目の役者である木内さんと福家さんに本日の待ち合わせ場所を連絡する。待ち合わせ場所は新宿西口小田急改札口前（1階）、また待ち合わせ時刻は15時30分とする。予定通りウォーキングが進行する。代々木駅には15時5分到着。小田急の踏切を避け、高島屋がある近代的歩道を通り、新宿駅南口に15時17分到着。私以外は新宿西口京王デパート前で待機。私は小田急1階改札口前である待ち合わせ場所に向かい、15時25分頃到着する。木内さんが既に到着されていた。福家さんが少し遅れて15時40分頃到着。3名が京王デパート前に移動し、15名で集合写真を撮る。

本来ならば一次会を喫茶店で開催する予定であったが、西田さんと真鍋さんが遠方からのこともあり、「中止して欲しい」旨の要望があり急遽中止する。山田さんも「親戚が来ている」とのことで3人がここでアップする。それで、いきなり飲み会に切り替える。何回かわいわい会等で利用したことのある新宿東口近くの5階にある新宿ライオン安具楽（あぐら）を予約する。うまい具合に「今からなら2時間位であれば空いている」との回答があり安具楽に向かう。うまい具合に定員12名位の部屋に通される。偶然とは言え、正に会場の広さと人数がうまくマッチする。乾杯の後、楽しい愉快的な懇談に入る。当然、本日の反省と今後の方針についても語る。2時間があつという間に過ぎ去る。いい反省会かつ忘年会であったが、懇親会に酔いしれ残念なことに集合写真を撮り忘れる。安具楽を18時15分頃出る。ここで一旦解散する。



希望者は新宿西口にあるカラオケ館に向かう。参加者は木内さん、福家さん、藤原さん、谷本さん、佐藤さん、宇賀神さん、樫原の7名となる。2時間半位各自喉を披露する。この店を22時前出て、本日のわいわい会の反省会兼忘年会は無事終了する。自宅には23時30分に到着。本日の鉄道キロは8.6Km、万歩計は34,154歩だった。なお、帰宅の電車の中でわいわい道中記の表紙にある「チョウゲンボウ」（食物はねずみ、バター等）の写真を藤原さんからお願いし頂戴する。この写真は昨日相模川で撮影したもので本人の自慢する作品のひとつのことであった。

## 第2節 東京～大崎（第36回わいわい会に対応）

東京(11:20)～有楽町～新橋(11:49)～浜松町(12:20)～田町～  
高輪ゲートウェイ～品川(16:05)～大崎(16:48)

第36回のわいわい会は、平成21年12月12日(土)小春日和のような中実施。恐らく本年最後のウォーキングとなろう。昨日の雨から一転して穏やかな日和に恵まれる。6時半に起床し、朝セブンの散歩をさせてから、本日のわいわい会に向かう。自宅を9時過ぎに出て、中央林間9時53分発の快速急行で新宿に向かう。そこから中央線で東京駅へ。自宅から中央林間駅までの歩きの途中、旗を忘れたのに気づく。しかし、引き返すだけの時間の余裕はなく、旗の持参を断念する。



東京丸の内南口には11時少し前に到着する。溝縁さんから10時57分、東京駅構内の居場所の確認がある。その他の人からは特に確認の電話なし。集合時間の11時10分、東京駅には、臼杵さん、坂本さん、谷本さん、大崎さん、溝縁さん、藤本さん、宇賀神さん、檜原の8名の参加がある。なお、寺西さん、藤田さん、西田さん、久米さん、石川さん、藤原さん、西原さんからは欠席の連絡あり。11時20分まで待ち、皆さんに挨拶してから、有楽町駅に向かう。そして、かつて幹事会の会場や懇親会で活用させて頂いたローズ&クラウン前を通過。



小春日和の中、師走の風情を楽しむ。紅葉も峠を越し、木々が黄色くなり落ち葉となっていた。本日は山手線の内側を終始保つ。有楽町、新橋と何度も歩いた道を8名でわいわいと歩く。11時49分、新橋汽車ポッポの前で本日最初の記念写真を撮る。汽車ポッポ前の気温は15℃と表示されていた。そのはず小春日和のように温暖な一日であった。



12時20分、都営地下鉄大門駅前を12時20分通過。そして、幹事会開催でお世話になっている「芝エクセレントビル」前を12時24分通過。このビル前で本日2回目の記念写真を撮る。そして、12時50分、田町駅前のB1にある謙徳蕎麦屋エンゼル店(そば処)で昼食を摂る。臼杵さんと藤本さんは定食を注文する。他の6名は、もりそばをつまみにして大ジョッキの生ビールを頂く。そして、常温の日本酒を各自1杯ずつ飲む。14時半まで宴会が続く。宴会中、私の自費出版の表紙(4案)をお見せする。私が選んだ表紙に対し、「明るくて内容にぴったり」とお褒め頂き、大きな自信となる。そして、谷本博士から酒の席でペンネーム「樫原 便(弁)」を頂く。宇賀神さんは「“便”ではなく“弁”の方がいいのではないかと」とジョークが続く。話が弾みあつという間に14時半となる。店の前で女将さんに記念写真を撮ってもらう。



紅葉の町並みを歩き芝エクセレントビル前へ



謙徳で昼食会后泉岳寺へ

この店を出るや否や、泉岳寺を目指す。15 時頃到着する。ここは数年前来たことがある。討ち入りに近いこともあり、多数の人が訪問し、線香をたいていた。ここで 30 分位境内を散策する。泉岳寺前で臼杵さんに寄せ書きを事前に記載頂く。というのは、「途中で帰宅する」とのお話を聞いたからである。福家さんから 15 時半頃携帯に連絡が入る。「新宿に来て欲しい」旨の連絡であった。それで、各位の了解を得て、大崎での反省会を急遽新宿に切り替える。



品川駅



大崎駅

品川には 16 時 5 分到着。臼杵さんはここでアップされる。少し暗くなりかけた道を歩く。大崎駅には 16 時 48 分到着。16 時 53 分の宇都宮行きで新宿駅に向かう。そして、新宿駅南口にある卯乃家へ。大崎さん、宇賀神さん、樫原の 3 名が、他の 4 人のメンバーとはぐれ、10 分位ロスタイムとなる。それで、卯乃家には若干予定時間を過ぎた 17 時 20 分頃到着となる。ここで、2 時間位、本年 1 年の懐かしい楽しい思い出を語る、反省会兼忘年会が開催される。懇親時間を利用して、寄せ書きを各位に書いて頂く。楽

しい時間もあっという間に過ぎる。ここで、坂本さん、大崎さん、藤本さんがアップされる。残りの5名で2時間程近くのカラオケ館で2次会をする。自宅には深夜0時着。本日の営業キロは8.8km、万歩計は23,378歩だった。小春日和の中、充実した一日を過ごすことができとてもよかった。



### 第3節 駒込～東京（第40回わいわい会に対応）

駒込(11:00)～田端(11:45)～西日暮里(12:10)～日暮里(12:18)～鶯谷(12:47)～上野(13:10)～御徒町～秋葉原～神田(15:29)～東京(15:57)

第40回わいわい会は、平成22年12月11日(土)実施。本日は快晴で温暖な一日であった。また、携帯電話が威力を発揮する一日でもあった。愛犬セブンの散歩を済ませるや否や古谷氏から7時47分、本日の出欠の迷いの電話がある。当然「同期は同期。是非出席下さい」とお願いする。この対応で古谷さんが参加方向で傾いて頂く。遠い昔の交渉術を思い出す。8時42分、溝縁さんから欠席の連絡あり。9時、自宅を出る。9時31分、古谷氏から約束の時間から少し遅れるが、参加して頂くとの連絡あり。感謝の思いで一杯となる。中央林間駅9時33分発の電車でJR駒込駅を目指す。



10時38分、山手線の巣鴨駅を出た辺りで、宇賀神さんから「JR駒込駅での改札口が二つあるのですが、北口、東口のどちらにしますか」との電話を頂く。「どちらがメインですか」と応対する。「南北線が接続する北口がメインの感じ」との回答あり。「それでは北口をお願いします」と応対する。昨年、埼玉高速鉄道(浦和美園＝赤羽岩淵)踏破の際、JR駒込駅経由で南北線乗り換えた場面が蘇る。あの時の経験が生かされなかったのが少し残念であった。反省の材料となった。10時41分、門口さんから、改札口の確認の電話あり。「北口」と回答。JR駒込駅には10時45分到着。臼杵さんと宇賀神さんが北口改札口前で待機されていた。お二人に会釈して、改札口を出る。改札口前でJR東日本の企画による「駅からのウォーキング」のイベントがあった。係りの女性がプラカードを上げていた。本日の参加人数は2,500名位で、六義園を通るコースとのことであった。その関係でリュックを背負った中高年の人を多数見かける。坂本さんのお話によると、このイベントの参加費は不要でお菓子や飲料水がサービスとして支給されるとのこと。

10時52分、植村さんに「待ち合わせ改札口は北口」と連絡する。10時53分、藤本さんから改札口の確認の電話あり。そして、10時55分頃、門口さん、藤本さん、谷本さん、植村さんが駒込駅北口に登場。11時少し前に、携帯を持参されていない坂本さんも北口改札前に無事お見えになる。後は古谷さんのみ。田端駅に11時45分到着というメッセージを誤って10時45分と勘違いする。それで、本日予定の11時を過ぎてもお見えならず。皆さんの合意を得て10分だけ延長してもらおう。しかし、11時10分になっても登場がないため、再度確認の電話を谷本さんに電話して頂く。その結果私の聞き違いとわかる。古谷さんとは次の田端駅で11時45分に待ち合わせることにする。8名の方に簡単な挨拶をして、1.6km先の田端駅に向けて出発する。本来ならば、駒込駅前で本日参加者の記念写真を撮るところであるが、古谷さんがまだお見えになっていないためパスする。駅舎だけの写真(11時11分)に留める。全員の記念写真は田端駅に持ち越す。本日の東京駅までの踏破駅は次の通り。

駒込 → 田端 → 西日暮里 → 日暮里 → 鶯谷 →  
上野 → <sup>おかちまち</sup>御徒町 → 秋葉原 → 神田 → 東京



11時16分、駒込さつき通り前を通過。山手線の外側を歩く。11時21分、銀杏が紅葉した光明山前を通過。古谷さんの名(ファーストネーム)に因んだ名称なので驚く。藤本さんから賛同を頂く。そして、藤本さんとの会話の中で、新京成線踏破の際の松戸近郊にあった「ワイワイ屋」を思い出す。懐かしい限りである。意外に身近なところに我々に関係する地名や企業名等があるのに驚く。11時22分、谷本博士によると、山手線で3つしかないという「第二中里踏切」前を通過。宇賀神さんも谷本博士の説明を聞いて、携帯カメラにこの踏切を収める。



第二中里踏切（山手線で三つしかない踏切の一つ）



田端駅で古谷氏と合流

11時45分に田端駅に到着。暫くして、本日10人目の古谷氏が登場する。駅前で記念写真を撮行人に撮って頂く。12時、常磐貨物線の片瀬踏切前に来る。暫くこの踏切前で待機したが、一向に遮断機が下りてこなかった。待機したのは、山手線と思ったからである。山手線は前方高架になった線路を走っていた。この近郊で2回袋小路にぶつかり少し遠回りをする。カメラ・パソコンに強い古谷氏は、40回目の節目のわいわい会ということもあり、ステッキの先端にカメラを取り付け、終始私達の動きの記録を撮り続けてくれていた。感謝で一杯となる。

最長営業キロ ベスト3 (10名以上参加)

1位：第7回 (平成14年6月：京王線) 21.9 km

2位：第11回 (平成15年9月：京王線) 16.0 km

2位：第18回 (平成17年7月：諏訪湖一周) 16 km



片瀬道踏切



西日暮里駅



日暮里駅



正岡子規庵

12時10分、西日暮里駅に到着。12時18分、日暮里に到着。ここでトイレ休憩する。臼杵さんと釣りやゴルフの話をお聞きしながら歩く。その他に毎日1時間程度早歩きをしているとのことであった。12時35分、根岸近郊で臼杵さんからこの近郊に「子規庵」があるとのことをお話を聞き、この庵に立ち寄り、記念写真を撮る。玄関前のブロック塀には現在NHKで放映中の「坂の上の雲」のポスターが展示されていた。



鶯谷駅

12時47分、鶯谷駅前を通過。この近郊は夜の楽園が道路に沿って多々あった。13時10分、上野駅に到着。昼食にしようと思い皆で店を探す。しかし、駅前には立ち食い蕎麦屋等があったが、ゆっくり落ち着いて食事するような感じの店は見つからず。それで、クリスマスツリーが主役である駅ビルに入るが、人気のある店は長蛇の列で断念することにする。御徒町駅への道筋で店を見つけることにする。御徒町中央通商店街に入

る。坂本さんの勧めで庄屋に入ろうとするが、生憎準備中であつた。お客に声を掛けている若い女性の勧めで庄屋の対面の店に決める。藁をも掴む思いだったのでほっとする。



パチンコ屋に隣接した「季の蔵」という店であつた。ここで遅い昼食（13時40分）を摂る。この店に入る頃、本日11人目の西原さんから電話がある。今、「人形町にいる」とのことであつた。電話で現在の居場所を説明するが、うまく説明できず。各自、メニューを見て海鮮丼、鮪丼、カレー等を注文する。少し狭かつたが、全員が同じ場所で食事ができとてもよかつた。生ビールで乾杯する。これまでのわいわい会の思い出話に花が咲く。七ヶ浜の「パン屋」、根府川の「からみもち」、函南の「食堂なし」の話題も出て来る。門口さんから「小休止の時出したかつたのですが機会がなく」と言われて、美味しいチョコレートの差し入れがある。門口さんの心温まる気配りにはいつも頭が下がる思いである。





西原さんが 14 時頃登場。私の下手な説明が災いしたようであった。非常に申し訳ない気持ちで一杯となる。西原さんからドライ焼等のお土産を頂戴する。西原さんにも機会あるたびに気配りして頂いている。感謝あるのみだ。改めて乾杯する。西原さんも交えて 14 時半頃まで楽しい懇談が続く。7 月末の彦根旅行の件も話題に出る。14 時 32 分、季の蔵前で記念写真を店員の方に撮って頂く。



写真撮影後、東京駅に向けて出発する。久しぶり参加の植村さんと世間話をしながら歩く。「歩きは気分転換に最高」とのことであった。また、坂本さんには「私の著書を何回読み返しても味がある。そして、前回の伊良湖岬の旅は永年の夢が実現でき榎原さんに感謝している」と歩きながらお褒め頂く。御徒町の路地を通り抜け、山手線の内側を歩く。その関係で御徒町駅と秋葉原駅には立ち寄らず。秋葉原近郊では沢山の若者と対面する。14 時 58 分、中央三井信託銀行前で谷本博士と逸れそうになる。私達の歩いている道路の向こう側を谷本さんが歩いていた。ここでも携帯電話が威力を発揮してくれた。15 時 25 分、須田町の交差点を通過。



神田駅



15時29分、JR神田駅前通過。14時30分、かつてフコク生命の千代田支社や企業年金部門があった西沢ビル前を通過。近くに神田パンセ時代よく行った姉妹居酒屋「升亀」があった。思わず懐かしくなる。駅舎工事中の東京駅には15時57分到着。



東京駅

丸の内側の地下街にある「神戸屋レストラン」で第一次反省会をする。予定よりも30分位東京駅到着時間が遅れた関係で、臼杵さんと西原さんが反省会に参加されずアップする。残り9名で17時位まで懇談する。門口さんからリュックの雨対策についてお伺いする。山のコーナーに行けば、リュックのサイズに応じたカバーを売っているとのことであった。これで雨への対策も今後はできる。私にとっては大きな収穫であった。また、今後のわいわい会の日程や「わいわい道中記/50回記念号」の話題も出る。私の今後ウォーキングのロマンについても語らせて頂く。そして、楽しい懇談も終了する。



神戸屋レストランにて

二次会は、大崎さん、谷本さん、坂本さん、宇賀神さん、檜原の5名で八重洲口にあるうどん浦房「杵屋」で行う。この店は1年前のさぬきうどん屋と同じ場所にあったが、店舗名と経営者等が変わっていた。丸の内側から八重洲口側に出るのに難儀する。途中、次男坊と発音が同じである「けいすけ」と言うラーメン店があった。杵屋には17時25分頃到着。ここで、20時過ぎまで忘年会。大崎さんと相模大野までご一緒させて頂く。帰宅途中、私の自費出版した「こだわり鉄道つたい歩き/アクチュアリー東海道本線踏破」について改めてお褒めを頂く。この励ましの言葉で更なるエネルギーを頂く。自宅には22時55分到着。本日の営業キロは8.7km、万歩計は35,009歩だった。今年も本日で営業キロは500kmを突破できた。



杵屋にて

暖かい師走の町は実に楽しかった。また、大変実りある一日であった。古谷さんにはお忙しい中ご出席に加え、終始ビデオを回して頂き感謝感激。早速ウォーキングの翌日、同窓会ホームページの同好会写真コーナーに掲載して頂いた。それから、谷本さんから朗報なニュース（JR 東日本土日切符）をお伺いする。この件を確認するため、谷本さんは第二次会への道筋 JR サービスコーナー等で汗をかいて下さった。更に、反省会等で“来年のわいわい会のスケジュール”や“今後のわいわい道中記の方針”を関係者に根回しできた。また今回もわいわい会が無事遂行でき皆さんに感謝あるのみだ。

## お礼のメール

○門口 マサ子 さん

久しぶりの「わいわい会」で楽しい一日でした。お世話になりました。  
また、お写真ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

○植村 寿子 さん

昨日はありがとうございました。  
とても 楽しく 歩かせていただきました  
お天気も よく 本当に よかったですね  
他の方々にも 親切にしてください また  
ぜひ 一緒に 歩かせて いただきたいと  
思っ ています  
向寒の折 お体 ご自愛くださいませ

## 第4節 駒込～新宿（第44回わいわい会に対応）

駒込(11:15)～巣鴨(11:29)～大塚(11:59)～池袋(12:57)～目白(14:52)～  
高田馬場(15:21)～新大久保(16:01)～新宿(16:30)

第44回わいわい会は、平成23年12月3日（土）、雨天の中実施。本日のコースは山手線の駒込から新宿までの8.4kmで、本日は4年にわたる山手線踏破仕上げの一日となった。同時に雨にも負けず、地震にも負けず、これで休むことなく44回の連続記録更新にもつながった。目出度い限りである。同窓の皆さんに感謝あるのみ。自宅を9時過ぎ出る。駒込駅には10時31分到着。駒込駅と六義園のポスターをカメラに収める。



駒込駅



六義園のポスター

駒込に宇賀神さん、門口さん、初参加の植村さん、藤本さん、そして谷本さんと順次登場される。佐藤さんは、用事ができたため少し遅れて来るとのことであった。本日のわいわい会について次の通り連絡があり、嬉しい限りである。

- ①昨日、17時42分、男性の植村さんから開催するか否かの電話あり。
- ②昨日、20時5分、溝縁さんから欠席の連絡あり。
- ③8時18分、門口さんから開催するか否かの連絡あり。
- ④9時33分、藤本さんから開催するか否かの連絡あり。
- ⑤9時35分、高田さんから欠席の連絡あり。
- ⑥佐藤さんから10時23分、10時46分の2回にわたり遅れる旨の携帯メールあり。
- ⑦9時54分、同期の植村さんから欠席の連絡あり。
- ⑧11時18分、西田さん（久米さん）から欠席の連絡あり。
- ⑨14時27分、末澤さんから欠席の連絡あり。
- ⑩12時51分、齋藤さんから夕方の忘年会出席の連絡あり。



六義園前



出発時刻は、11 時であるが、10 分間だけ待つことにする。しかし、他のメンバーは現れず。恐らく雨天のため、中止と判断したのだろう。福家さん、木内さん、坂本さん、平尾さんに念のため確認の電話を入れるが。11 時 15 分、5 人のメンバーに挨拶後、雨の中巢鴨駅に向けて出発する。藤本さんのお話によると、東京香川県人会の松平会長のお屋敷が駒込駅近郊にあるとのことであった。谷本さんからの推奨を受け、駒込駅前の六義園（ハイキング同好会で数年前散策あり）に立ち寄ることとする。

4



巢鴨駅



当初は六義園の散策も考えたが、雨と時間の関係からパスする。5 分位入口前を散策（係員からパンフレットを頂く）し、巢鴨に向けて出発する。11 時 29 分、巢鴨駅に到着する。谷本さんから、「佐藤さんは大塚駅から合流」との連絡を頂く。11 時 39 分、江戸橋を通過。11 時 49 分、道路に面して蝶の標本があった。11 時 51 分、大塚駅に到着。11 時 59 分、佐藤さんを含めた 7 名で大塚駅前にて記念写真を撮ってもらう。雨も小ぶりとなり、傘をささなくても気にならない状態となる。山手線の内側を歩く。初参加の植村さんのお話によると、「表札を見ながら歩くのも面白い」と。ユニークな苗字

もあるし、名前もあるから。



巣鴨駅



大塚駅近郊



12時28分、宮仲橋に到着。雨完全に上がる。12時34分、堀之内橋で池袋駅までの行程、「山手線の内側を歩く」か「外側を歩く」かの提案があるが、後者を選択する。東武側の山手線の外側が賑やかと判断したからである。12時40分、豊島清掃工場前（健康プラザ）を通過。100m位の高い煙突が聳え立っていた。12時46分、壁に描かれた絵画を見つける。今度は山手線に沿ったエリアを利用して写真展を見つける。池袋駅近し。12時57分、池袋駅前（西口）で記念写真を撮ってもらう。



池袋駅への路



わいわい会 44 回を記念に、銀座ライオン(しし)で昼食会。ここでアルコールを入れ、14 時半頃まで懇談をする。懇談中に佐藤さんに、夕方の反省会の場所として新宿ライオン(安具楽)を予約してもらう。同時に齋藤さんにも連絡を入れる。懇談後、目白に向けて出発する。



ライオンでの昼食会

14時45分、頭上に西武池袋線があった。14時47分、JR線向うにヨネクラジオが見える。14時52分、目白駅に到着。15時13分、声優学校前を2度通過する。15時15

かみだか  
分、神高橋を通過。15時18分、高田馬場駅（西武）に到着。谷本博士からこの駅のメロディーについて質問あり。「鉄腕アトム」とのこと。鉄腕アトムアニメが多々ある壁面前で記念写真。



高田馬場駅



佐藤さんに鉄腕アトムを背景に写真を撮ってもらおう。今年一番の記念写真かも知れない。この写真は、非常に気に入ったため、ウェブサイト“カッシー館”にも後日掲載。15時21分、JR線高田馬場駅の駅舎看板をカメラに収める。15時31分、宇賀神さんがミスタードーナツでお気に入りのスヌピーを見つけ、購入のため駆け込む。ここで10分程度小休止。15時57分、植村さん推奨の韓流百貨店等がある韓流通りに到着。ここでうっかりして、新大久保駅を未踏破しそうになるが、門口さんの御蔭で新大久保駅の踏破ができる。



新大久保駅前

少し戻り、16時1分、新大久保駅に到着。ここで夕方所用があるとのことで、門口さんがアップする。「山ちゃん」、「ふうけもん」の店前を通り、新宿駅東口に16時30分到着。新宿駅東南口で齋藤さんと待ち合わせる。



韓流通り



新大久保駅

17時15分から19時30分にかけて、新宿ライオン（5階安具楽：將軍鍋）で反省会をする。そしてお開きとなる。齋藤さんと一緒に副都市線を利用して自宅へ。初めて副都市線に乗る。渋谷からのアクセスにひとつ幅ができた。自宅には21時40分着。本日の営業キロは8.4km、万歩計は32,460歩だった。足元が悪いにもかかわらず、8名もの参加を頂き感謝感激。充実した一日であった。





大忘年会



来年もよろしくお願ひします

## ザ・感動

榎原さんは地球の果てまでも歩いて行きそうな人だった